

令和8年度 研修事業概要

公益財団法人 かがわ健康福祉機構 研修部

I 令和8年度 研修計画

1 令和8年度 研修事業計画

(1) 基本方針

香川県の人口に占める高齢者の割合は、全国平均を上回っており、令和元(2019)年には3割を超えました。また、令和22(2040)年頃まで、高齢者人口は30万人前後で推移するものの、介護・医療の複合的ニーズを有する85歳以上人口の急速な増加や認知症高齢者が見込まれ、介護サービス需要の増加・多様化が想定される一方、生産年齢人口については減少が見込まれています。そうした中で、自立支援や介護予防・重度化防止、医療・介護等が包括的に確保される地域包括ケアシステムを支える人材の確保など、多くの課題への対応が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、切れ目のない医療・介護の提供体制を構築し、一人一人の自立と尊厳を支えるケアを将来にわたって持続的に実現していくことが求められているところです。公益財団法人かがわ健康福祉機構研修部では、福祉・介護に携わる人たちの専門的知識及び技術の向上を図るとともに、組織性を高める研修を行い、社会の変化に伴い多様化するニーズに対応できる質の高い人材を養成することを目指します。

(2) 研修目標

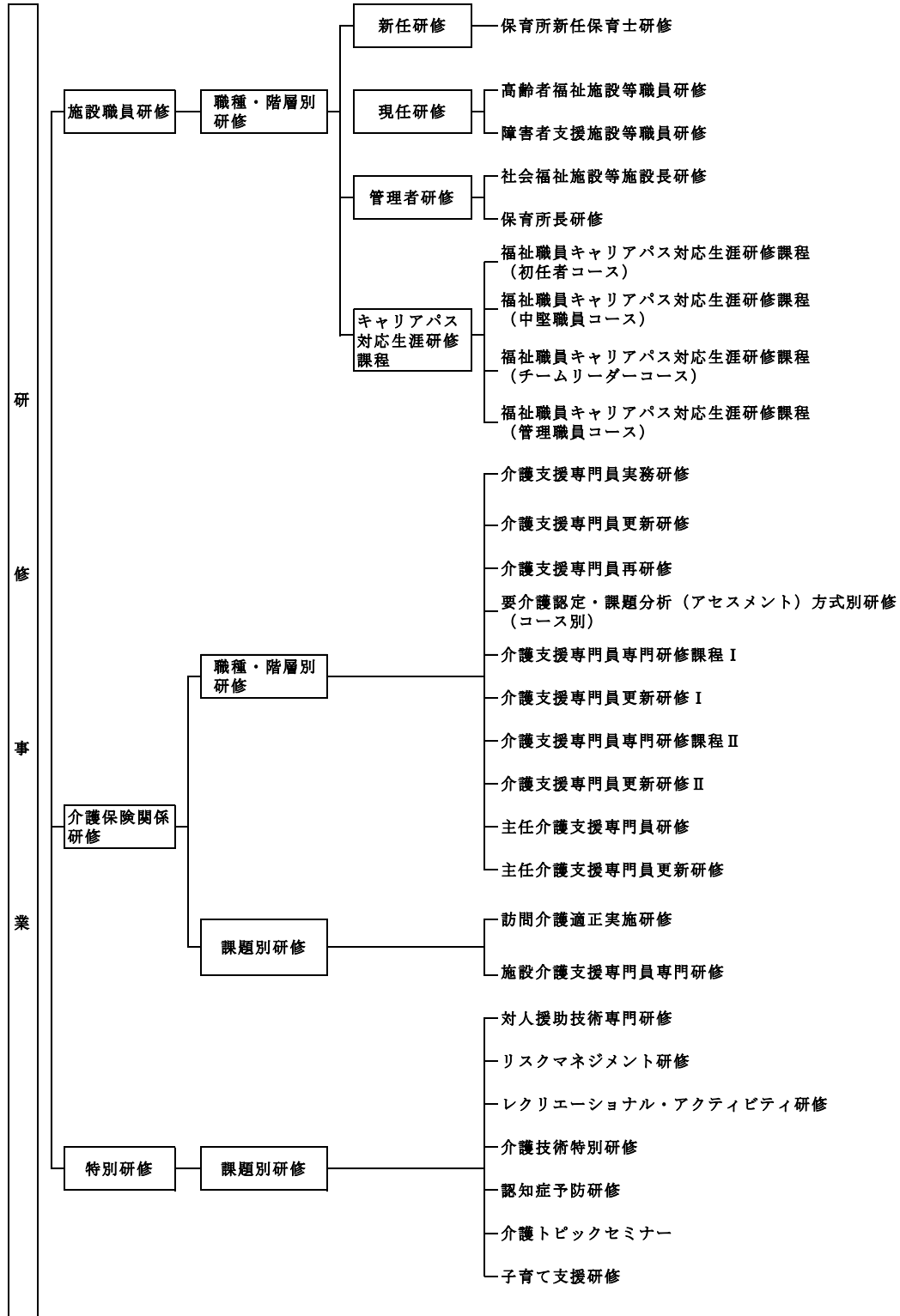
- ① 各種社会福祉事業等に携わる者の専門的知識・技術の修得、介護支援専門員のケアマネジメント能力等の向上及び介護現場を担う職員の資質向上を図ります。
- ② 実践を重視し、問題解決能力を培います。
- ③ 職場内研修や自己啓発を支援し、組織人としての能力と意識を高めるとともに必要な情報の提供を図ります。

(3) 研修事業計画

社会福祉事業等に従事する者の資質向上や福祉・介護ニーズの多様化に対応した人材の育成を図るため、施設種別、階層別及び課題別等に各種の研修を実施するとともに、介護保険事業におけるケアマネジメントの専門性を高めるための研修を充実させるなど、現場で活かせる効果的な研修を実施していきます。

さらに、介護支援専門員関係研修については、原則として、講義は自宅等で受講が可能なeラーニング、演習は双方向型のオンライン研修で実施します。

2 令和8年度 研修事業体系図



3 令和8年度 研修事業実施計画総括表

研修体系		NO	研修名	開催予定月	日数	受講定員	摘要	
施設職員研修	新任	1	保育所新任保育士研修	5月	2日間×1回	90		
		現任研修	2	高齢者福祉施設等職員研修	8月	1日間×1回	90	
			3	障害者支援施設等職員研修	9月	1日間×1回	90	
	管理者研修	4	社会福祉施設等施設長研修	10月	1日間×1回	90		
		5	保育所長研修	6月	1日間×1回	90		
	キャリアパス研修課程	6	キャリアパス対応生涯研修課程 (初任者コース)	6月	2日間×1回	50		
		7	キャリアパス対応生涯研修課程 (中堅職員コース)	8月	2日間×1回	50		
		8	キャリアパス対応生涯研修課程 (チームリーダーコース)	8月	2日間×1回	50		
		9	キャリアパス対応生涯研修課程 (管理職員コース)	9月	2日間×1回	50		
介護保険関係研修	職種・階層別研修	10	介護支援専門員実務研修	12月～3月	10日間×2回	252	定員は、3コース合算 実務は別途実習あり	
		11	介護支援専門員更新研修	12月～3月	7日間×2回			
		12	介護支援専門員再研修	12月～3月	7日間×2回			
	13	要介護認定・課題分析 (アセスメント)方式別研修	1月	1日間×2方式	90	2種類(2コース)の方式別実施		
	14							
	15	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	6月～7月	5日間×1回	90	定員は、専門研修課程 と更新研修受講者を合算		
	16	介護支援専門員更新研修Ⅰ	6月～7月	5日間×1回				
	17	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	5月～6月 9月～10月	4日間×2回	252	定員は、専門研修課程 と更新研修受講者を合算		
	18	介護支援専門員更新研修Ⅱ	5月～6月 9月～10月	4日間×2回				
	19	主任介護支援専門員研修	10月～12月	9日間×1回	60			
20	主任介護支援専門員更新研修	8月～9月	4日間×1回	90				
特別研修	課題別研修	21	訪問介護適正実施研修	7月	1日間×1回	90		
		22	施設介護支援専門員専門研修	10月	1日間×1回	90		
		23	対人援助技術専門研修	7月	1日間×1回	90		
		24	リスクマネジメント研修	8月	1日間×1回	90		
		25	レクリエーション・アクティビティ研修	5月	1日間×1回	70		
		26	介護技術特別研修	8月	1日間×1回	90		
		27	認知症予防研修	11月	1日間×1回	90		
		28	介護トピックセミナー	9月	1日間×1回	90		
		29	子育て支援研修	7月	1日間×1回	90		

4 令和8年度 研修事業実施計画概要①

研修体系		NO	研修名	研修目的	対象者	研修内容または研修時間および備考	
施設職員研修	職種・階層別研修	新任研修	1	保育所新任保育士研修	新任保育士に必要な基礎知識及び社会人としての職場における適応力を培う。	保育経験年数2年未満の者で本研修の未受講者	<ul style="list-style-type: none"> ・保育行政の動向 ・信頼される保育者になるために ・子どもの発達と保育士の役割 ・乳幼児の事故防止と応急処置 ・VUCA（不確実）時代におけるキャリアUP術 ・運動遊びへの誘い（いざない） （前年度内容）
		現任研修	2	高齢者福祉施設等職員研修	高齢者福祉施設等における利用者支援のためのコミュニケーション、スタッフ間の連携・協力、スタッフ育成などを理解、実践できるよう、高齢者福祉施設等職員として必要な専門的知識及び技術の習得を図る。	高齢者福祉施設、介護保険関係事業所等の職員、または受講を希望する者 （中堅スタッフ、リーダー、管理職、施設長まで可）	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの定着・育成のためのコミュニケーション （前年度内容）
			3	障害者支援施設等職員研修	障害者福祉をめぐる法制度・施策の動向や障害者の現状を学ぶとともに、根底にある障害者福祉の理念を改めて考え、それに基づく個別支援の手法を学ぶことにより、障害者福祉に携わる職員の資質の向上を図る。	指定障害者福祉サービス事業所、障害者福祉施設等の職員または受講を希望する者	<ul style="list-style-type: none"> ・障害があるとはどういうことだろうか （前年度内容）
		管理者研修	4	社会福祉施設等施設長研修	利用者一人ひとりが、その人らしく暮らせる支援について考えるとともに、組織の運営責任者として現代の社会情勢に適応した施設のあり方を学び、専門性の向上等を図る。	社会福祉施設等の施設長又はそれに準ずる者	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場の次世代の人材育成と運営管理 （前年度内容）
			5	保育所長研修	保育をめぐる社会的要請や子育て支援のニーズが一層多様化する中、保護者や地域から「信頼」される園づくりにどのように取り組めばよいか、保育所として重大事故を起こさないための予防の基本的な考え方や重要性、リスクコミュニケーションについて、また、保育の適切性や質の向上を図るための職員の人材定着方法など、管理者に求められる課題と解決に向けた方向性について考えることで、保育所長等の資質向上を図る。	保育所(園)長、認定こども園長等	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等における経営戦略の考え方 ・不適切保育が生じる背景と保育の質を高める園内連携のあり方 （前年度内容）
施設職員研修	キャリアパス対応生涯研修課程	6	初任者コース	①福祉職員が、自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援する。 ②各法人、事業所が主体的に職員のキャリアパスを整備し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒入職後、2年程度の職員 ・他業界から福祉職場へ入職後、2年程度の職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・基軸科目の講義と演習 ・基礎科目の講義と演習 ・重点科目の講義と演習 ・啓発科目の講義と演習 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプラン策定 	
		7	中堅職員コース		<ul style="list-style-type: none"> ・担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 （入職後、概ね3～5年の節目の職員） 		
		8	チームリーダーコース		<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任、係長等に就いている職員 		
		9	管理職員コース		<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業管理者、部門管理者等に就いている職員 		

4 令和8年度 研修事業実施計画概要②

研修体系	NO	研修名	研修目的	対象者	研修内容または研修時間および備考
介護保険関係研修	職種・階層別研修	10	介護支援専門員実務研修 介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で、医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図る。	介護支援専門員実務研修受講試験合格者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 91 時間＋実習 ・ 実務研修受講試験合格者に関係書類を個別に郵送します。 ・ オンライン研修とは別に実習（15 時間程度）を実施予定ですが、感染症拡大状況等により代替講義で実施する場合があります。
		11	介護支援専門員更新研修 介護支援専門員証の有効期限を更新する時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修の機会を確保し、介護支援専門員として、必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図る。	員証の有効期間（5年）の間で実務経験がないが、今後、実務に就く予定の者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 57 時間 ・ 11 と同じカリキュラムになります。
		12	介護支援専門員再研修 介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が今後実務に就くために、介護支援専門員としての必要な知識及び技能の再修得を図る。	員証の有効期間が既に満了しているが、今後実務に就く予定の者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 57 時間 ・ 研修修了日前日までに介護支援専門員証有効期間が満了する者を含みます。 ・ 12 と同じカリキュラムになります。
		13 14	要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修(コース別) 介護支援専門員実務研修の実施に当たり、要介護認定及び課題分析(アセスメント)の各方式について理解を深める。	介護支援専門員実務研修の受講者及び受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> (1) 要介護認定研修 (2) 課題分析(アセスメント)方式別研修会 <ul style="list-style-type: none"> ① 居宅サービス計画ガイドライン方式 ② 三団体ケアプラン策定研究会方式

4 令和8年度 研修事業実施計画概要③

研修体系	NO	研修名	研修目的	対象者	研修内容または研修時間および備考
介護保険関係研修	職種・階層別研修	15	介護支援専門員としての一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。	原則として、現在実務に従事しており、就業後6か月以上の者	<ul style="list-style-type: none"> ・57時間 ・令和8年3月に実務研修を修了した者は原則受講できません
		16		現在の員証の有効期間中に実務に従事している又は従事していた経験があり、員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者	<ul style="list-style-type: none"> ・57時間 ・研修で使用する事例が提出できない場合は、実務経験者であっても「11 更新研修」を受講してください。
		17		原則として、現在実務に従事しており、就業後3年以上の者で既に専門研修課程Ⅰを修了している者	<ul style="list-style-type: none"> ・33時間 ・17は18と合同で開催するため、申込多数の場合、18の申込（有効期間満了日が近い方）を優先させていただきます。 ・2回目以降の更新をする場合で、前回の更新時に「15 専門研修Ⅰ」又は「16 更新研修Ⅰ」を受講した方は、「17 専門研修Ⅱ」又は「18 更新研修Ⅱ」のみの受講で更新できます。 ・研修で使用する事例が提出できない場合は、実務経験者であっても「11 更新研修」を受講してください。
		18		現在の員証の有効期間中に実務に従事している又は従事していた経験があり、専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰ（専門研修課程Ⅰ相当）を修了しており、員証の有効期間がおおむね1年以内に満了する者	

4 令和8年度 研修事業実施計画概要④

研修体系	NO	研修名	研修目的	対象者	研修内容または研修時間および備考	
介護保険関係研修	職種・階層別研修	19	主任介護支援専門員研修	介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員の業務に関して十分な知識と経験を有し、他の介護支援専門員に対する助言・指導などの適切な業務を行える者 ・専門研修課程Ⅰ及びⅡを修了している者 (要件の詳細は省略) 	<ul style="list-style-type: none"> ・70 時間 ・この研修では介護支援専門員証の有効期間の更新はできません。
		20	主任介護支援専門員更新研修	主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図る。	主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期間がおおむね2年以内に満了する主任介護支援専門員 (要件の詳細は省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・46 時間 ・主任介護支援専門員更新研修を修了した者は、更新研修Ⅱ（専門研修課程Ⅱ相当）(18)を修了したものとみなし、介護支援専門員証の更新手続きができます。 ・介護支援専門員証の有効期間を主任介護支援専門員の有効期間に揃えることができます（例外もあります）。
	課題別研修	21	訪問介護適正実施研修	訪問介護事業所のサービス提供責任者等として、訪問介護員に必要な知識・技術の習得を図るとともに、その役割についての理解を深め、適正なサービス提供と業務遂行能力の一層の向上を図る。	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応 ・訪問介護サービスが抱える様々な課題について考える (前年度内容)
22		施設介護支援専門員専門研修	高齢者介護施設では入居(利用)者の多様なニーズへの対応が求められており、一人ひとりの入居(利用)者のより良い生活の実現に適したケアマネジメント手法を学ぶことで介護支援専門員の質の向上を図る。	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護施設のケアマネジメントと地域連携 (前年度内容) 	

4 令和8年度 研修事業実施計画概要⑤

研修体系	NO	研修名	研修目的	対象者	研修内容または研修時間および備考
特別研修 課題別研修	23	対人援助技術専門研修	対人援助技術のスキルアップを図り、課題やニーズをもつ来談者・利用者に対する応用力・実践力を高めるとともに自己理解を深めることにより相談面接や対人援助の業務に携わっている方の資質の向上と意欲の増進を図る。	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方	<ul style="list-style-type: none"> 信頼関係を醸成する話の聴き方を学ぶ 職場でストレスマネジメント (前年度内容)
	24	リスクマネジメント研修	施設や職場におけるリスクマネジメントの実践について学び、トラブル発生時の対応や予防の能力を高め、安定した業務活動の継続を図る。	施設・事業所において、危機管理を担当する職員 受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> 弁護士による法的リスク対策研修 リスクに強い組織を作るには？ (前年度内容)
	25	レクリエーショナル・アクティビティ研修	介護現場で、「運動機能向上」「脳トレーニング」「口腔機能向上」などが期待できるレクリエーションを実施するための知識やスキルを学べる機会である。入所施設やデイサービスですぐに活用できるように、準備方法から配慮事項、実施方法を習得ができ、また、介護者自身の体力維持や増進の方法も学ぶ。	入所施設やデイサービスセンター等においてレクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員、または受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者のからだどころ じゃんけんやボール回しなどを活用しながら、身体活動運動機能向上の軽運動など (実技と解説) (前年度内容)
	26	介護技術特別研修	日々の介護を振り返り、エビデンスとエンパワメントに基づく介護を考えるとともに、今、最も新しく、専門性の高い技術を学ぶことにより、介護者としての資質の向上を図る。	社会福祉施設等で直接介護にあたる職員 受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> 介護現場の利用者の権利擁護について (前年度内容)
	27	認知症予防研修	<p>近年、認知症は予防だけではなく、罹ったときに安心して地域で暮らせるために、「地域共生社会」モデルが重視されている。地域共生社会の実現には、福祉や介護の視点をはじめ、心理学や社会学など様々な知見が求められる。</p> <p>そこで、この研修では認知症予防のための生活習慣について、これまでの研究からわかった危険因子をもとに、支援者として相手の生活習慣を無理なく変えるための方略について認知行動療法をベースに学びを深める。</p> <p>また、認知症高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう(地域包括ケアシステム)、医療機関、介護施設、地域包括支援センター、行政機関などが連携し、包括的な支援体制を構築することを学ぶ。</p>	認知症介護(予防)に従事する方 受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> 認知行動療法を用いた認知症予防 認知症ケアと地域連携 (前年度内容)
	28	介護トピックセミナー	在宅や施設・事業所などの介護現場が抱える課題のうち、日常口腔ケアにおける介護職の役割及び感染対策について理解を深めるとともに、職員を守ることもつながる、ノーリフティングで福祉用具が活用できる環境づくりについて学ぶ。	介護、看護等に従事する職員 受講希望者	<ul style="list-style-type: none"> 介護現場における口腔ケア実践 ノーリフティングの取組 (前年度内容)
	29	子育て支援研修	子育てを支援・活性化していくため、地域における子育てに携わる方々の、子育て支援に関する知識を深めるとともに、技術の習得を図る。	保育所・地域子育て支援センターの職員、子育てボランティアとして活動中の方、児童館職員、市町児童福祉担当職員等	<ul style="list-style-type: none"> あらためて子育て支援を考える 保育現場で活かせる美術工芸 (前年度内容)

※研修内容については、変更することがあります。

※なお、10～12、15～20は、香川県HP(ケアマネジャー支援情報)をもとに作成しています。

5 令和8年度 研修事業計画スケジュール

月	自主研修	受託研修	介護支援専門員研修
4			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所新任保育士研修(2日間) 1 ・ レクリエーション・アクティビティ研修 25 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門研修課程Ⅱ① ・ 更新研修Ⅱ① (～6月・全4日間) 17 18
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース2日間) 6 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所長研修 5 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門研修課程Ⅰ ・ 更新研修Ⅰ (～7月・全5日間) 15 16
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護適正実施研修 21 ・ 対人援助技術専門研修 23 ・ 子育て支援研修 29 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者福祉施設等職員研修 2 ・ キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員コース2日間) 7 ・ キャリアパス対応生涯研修課程(チームリーダーコース2日間) 8 ・ リスクマネジメント研修 24 ・ 介護技術特別研修 26 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任介護支援専門員更新研修 (～9月・全4日間) 20
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者支援施設等職員研修 3 ・ キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース2日間) 9 ・ 介護トピックセミナー 28 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門研修課程Ⅱ② ・ 更新研修Ⅱ② (～10月・全4日間) 17 18
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉施設等施設長研修 4 ・ 施設介護支援専門員専門研修 22 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 主任介護支援専門員研修 (～12月・全9日間) 19
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症予防研修 27 		
12			<ul style="list-style-type: none"> ・ 実務・更新・再研修 (～3月・全10日間/全7日間・2コース) 10 11 12
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修 13 14 		
2			
3			

※計画スケジュールは、変更することがあります。

1 令和7年度 研修事業実績総括表①

研修体系		NO	研修名	開催日	日数	受講者数	延べ人数	備考	
施設職員研修	新任	1	保育所新任保育士研修	5月21日(水)、22日(木)	2日間×1回	65	130		
		現任研修	2	高齢者福祉施設等職員研修	8月21日(木)	1日間×1回	30	30	
			3	障害者支援施設等職員研修	9月17日(水)	1日間×1回	50	50	
	管理者研修	4	社会福祉施設等施設長研修	10月2日(木)	1日間×1回	27	27		
		5	保育所長研修	6月18日(水)	1日間×1回	72	72		
	キャリアパス研修課程	6	キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース)	6月25日(水)、26日(木)	2日間×1回	47	94		
		7	キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員コース)	8月22日(金)、23日(土)	2日間×1回	44	87		
		8	キャリアパス対応生涯研修課程(チームリーダーコース)	8月29日(金)、30日(土)	2日間×1回	56	112		
		9	キャリアパス対応生涯研修課程(管理職員コース)	9月18日(木)、19日(金)	2日間×1回	25	50		
介護保険関係研修	職種・階層別研修	10	介護支援専門員実務研修	Aコース 12月19日(金)～3月17日(火) Bコース 12月20日(土)～3月21日(土)	実務: 10日×2コース 更新/再: 7日×2コース	98	980	・講義部分はeラーニングを導入(実務:40時間、更新/再:30時間) ・実務:10日間、更新/再:7日間 ・講義・演習は、実務の2日間は集合研修、それ以外はWeb研修 ・実務は別途実習あり	
		11	介護支援専門員更新研修			44	308		
		12	介護支援専門員再研修			36	252		
		13	要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修	1月14日(水)	1日間×2コース	84	84	方式別実施	
		15	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	6月21日(土)、27日(金)、7月4日(金)、11日(金)、16日(水)【全5日間】	5日間×1回	45	225	講義部分は、eラーニング(29時間) 講義・演習は、Web研修	
		16	介護支援専門員更新研修Ⅰ		5日間×1回	28	140		
		17	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	Aコース:5月24日(土)、28日(水)、6月2日(月)、6日(金)【4日間】	4日間×1回	0	0	講義部分はeラーニング(17時間) 講義・演習は、Web研修	
				Bコース:9月28日(日)、10月1日(水)、8日(水)、10日(金)【4日間】	4日間×1回	8	32		
		18	介護支援専門員更新研修Ⅱ	Aコース:5月24日(土)、28日(水)、6月2日(月)、6日(金)【4日間】	4日間×1回	140	558	講義部分はeラーニング(17時間) 講義・演習は、Web研修	
				Bコース:9月28日(日)、10月1日(水)、8日(水)、10日(金)【4日間】	4日間×1回	130	522		
		19	主任介護支援専門員研修	10月18日(土)～12月3日(水)【全9日間】	9日間×1回	40	358	講義部分はeラーニング(24時間) Web研修(2日間) 集合演習(7日間)	
20	主任介護支援専門員更新研修	8月18日(月)、27日(水)、9月5日(金)、12日(金)【全4日間】	4日間×1回	112	448	講義部分は、eラーニング(17時間) 講義・演習は、Web研修			

1 令和7年度 研修事業実績総括表②

研修体系		NO	研修名	開催日	日数	受講者数	延べ人数	備考
介護保険関係研修	課題別研修 特別研修	21	訪問介護適正実施研修	7月3日(木)	1日間×1回	50	50	
		22	施設介護支援専門員専門研修	10月17日(金)	1日間×1回	34	34	
23		対人援助技術専門研修	7月18日(金)	1日間×1回	22	22		
24		リスクマネジメント研修	8月7日(木)	1日間×1回	53	53		
25		レクリエーショナル・アクティビティ研修	5月16日(金)	1日間×1回	40	40		
26		介護技術特別研修	7月31日(木)	1日間×1回	24	24		
27		認知症予防研修	11月7日(金)	1日間×1回	33	33		
28		介護トピックセミナー	9月4日(木)	1日間×1回	40	40		
29		子育て支援研修	7月23日(水)	1日間×1回	17	17		
30		接遇力研修	5月9日(金)	1日間×1回	27	27		
合計		30講座・85日				1,521	4,899	

Ⅱ 令和7年度 研修実施状況

2 令和7年度 研修事業 実施状況

1 施設職員研修

【職種・階層別研修】

<新任研修>

(1) 保育所新任保育士研修 **1**

目的	新任保育士に必要な基礎知識及び社会人としての職場における適応力を培う。				
対象者	保育経験年数2年未満の者で本研修の未受講者				
日程	令和7年5月21日(水)、22日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開催日数	2日間×1回	受講者数	実人数	65人	延べ人数 130人
	科目	時間	講師：職・氏名		
1日目	保育行政の動向	9:00～ 9:50	香川県子ども政策推進局 子ども政策課長補佐 藪根 浩司		
	信頼される保育者になるために～スタートに立った今、おさえておきたいポイント～	10:00～ 12:00	元 高松短期大学 准教授 現 社会福祉法人 カナン福祉センター 理事長 山本 幾代		
	子どもの発達と保育士の役割	13:00～ 14:30	香川県臨床心理士会 会長 岡 悦子		
	乳幼児の事故防止と応急処置	14:40～ 16:30	守里会看護福祉専門学校 看護学科専任教員 辰野 浩美		
2日目	VUCA（不確実）時代におけるキャリアUP術～保育士としてのキャリアについて考えよう～	9:00～ 12:00	人財育成のスペシャリスト 株式会社ミズ・オフィス 代表取締役 土居 珠見		
	運動遊びへの誘い（いざない）～夢中になって遊ぼう！～	13:00～ 16:00	香川大学 教育学部講師 澤 宜英		
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会人になっていろいろと困っていたので、とても良い研修となった。 ○ グループで話し合う時間があると考える時間ができるので頭に入りやすい。運動遊びは知らない人とも仲良くなれて楽しかった。 ○ 自分が思い描く保育士像を再確認することができ、何を大切にしなければならないのかをどの科目でも考えることができた。 					

<現任研修>

(1) 高齢者福祉施設等職員研修 **2**

目的	高齢者福祉施設等における利用者支援のためのコミュニケーション、スタッフ間の連携・協力、スタッフ育成などを理解、実践できるよう、高齢者福祉施設等職員として必要な専門的知識及び技術の習得を図る。
対象者	高齢者福祉施設、介護保険関係事業所等の職員、または受講を希望する者（中堅スタッフ、リーダー、管理職、施設長まで可）

日 程	令和7年8月21日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	30人	延べ 人数	30人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
スタッフの定着・育成のためのコミュニケーション ～自立度に応じたティーチングとコーチングの使い分け～ 【講義】 スタッフの成長に応じたティーチングとコーチングの使い分け 【演習1】 指示トレーニング 確実に伝わり、相手を動かす指示の方法を学ぶ 【演習2】 助言トレーニング 相手の役に立つ効果的な助言の方法を学ぶ 【演習3】 コーチング・トレーニング 自己決定と自己解決を支える質問の方法を学ぶ		9:30～ 12:00 13:00～ 15:30	東京女子医科大学 統合教育学修センター准教授 日本保健医療行動科学会会長 人と人研究会代表 諏訪 茂樹			
主な意見 ○ ティーチング、コーチングの難しさを感じた。 ○ スタッフを育てるには適切な指示や助言を出せるよう、自分自身もう一度振り返る時間となった。 ○ 以前も参加したが、今回も気づきやためになる話を聞かせてもらった。						

(2) 障害者支援施設等職員研修 3

目 的	障害者福祉をめぐる法制度・施策の動向や障害者の現状を学ぶとともに、根底にある障害者福祉の理念を改めて考え、それに基づく個別支援の手法を学ぶことにより、障害者福祉に携わる職員の資質の向上を図る。					
対象者	指定障害福祉サービス事業所・障害者支援施設等の職員又は受講を希望する者					
日 程	令和7年9月17日(水)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	50人	延べ 人数	50人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】 障害があるとはどういうことだろうか		10:00～ 12:00 13:00～ 16:00	香川大学教育学部 教授 附属特別支援学校 校長 坂井 聡			
主な意見 ○ アシストガイドが共有できると良いと思った。 ○ 参加型形式で最後まで楽しんで聞くことができた。 ○ 有意義な時間だった。明日から改めて、子供の目線になってかかわろうと思った。						

<管理者研修>

(1) 社会福祉施設等施設長研修 **4**

目的	利用者一人ひとりが、その人らしく暮らせる支援について考えるとともに、組織の運営責任者として現代の社会情勢に適応した施設のあり方を学び、専門性の向上等を図る。					
対象者	社会福祉施設等の施設長又はそれに準ずる者					
日程	令和7年10月2日(木)	開催場所	社会福祉総合センター 大会議室			
開催日数	1日間×1回	受講者数	実人数	27人	延べ人数	27人
科目		時間	講師：職・氏名			
福祉現場の次世代の人材育成と運営管理 ～人材の採用・育成と 生産性向上の取組・ICTの導入～		10:00～ 12:00	日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授			
		13:00～ 15:00	社会福祉法人睦月会 理事長 綿 祐 二			
主な意見						
○ 具体例が豊富でとてもわかりやすく、資料も良かった。						
○ このような研修をまた開催していただければ嬉しい。						
○ パワーのある講義で管理者でも現場に出ているからこそその話が聞けて良かった。						

(2) 保育所長研修 **5**

目的	保育をめぐる社会的要請や子育て支援のニーズが一層多様化する中、保護者や地域から「信頼」される園づくりにどのように取り組めばよいか、保育所として重大事故を起こさないための予防の基本的な考え方や重要性、リスクコミュニケーションについて、また、保育の適切性や質の向上を図るための職員の人材定着方法など、管理者に求められる課題と解決に向けた方向性について考えることで、保育所長等の資質向上を図る。					
対象者	保育所(園)長、認定こども園長 等					
日程	令和7年6月18日(水)	開催場所	社会福祉総合センター 大会議室			
開催日数	1日間×1回	受講者数	実人数	72人	延べ人数	72人
科目		時間	講師：職・氏名			
保育所等における経営戦略の考え方 ～保護者に選ばれる園づくりを目指して～		9:30～ 12:00	中小企業診断士 香川銀行コンサルティング担当 梅澤 大樹			
不適切保育が生じる背景と保育の質を 高める園内連携のあり方		13:00～ 16:00	四国学院大学社会福祉学部 教授 野崎 晃広			
主な意見						
○ とてもためになるお話で、今日明日からの保育園での運営で実践してみようと思う内容だった。						
○ 目標をはっきりさせ、そのプロセスをしっかりと見ていくことが大切だと学んだ。						
○ グループ討議もあり、いろいろな考え方を聞くことができて有意義だった。						

<キャリアパス対応生涯研修課程>

(1) キャリアパス対応生涯研修課程(初任者コース) **6**

目的	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程とは、高齢者福祉や障害者福祉、児童福祉など福祉の全分野に共通して求められる能力を開発するための基礎研修として、全国社会福祉協議会が開発したものであり、目的は次の通り。 ① 福祉職員が、自らのキャリアアップの道筋を描き、それぞれのキャリアパスの段階に応じて共通に求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援する。 ② 各法人、事業所が主体的に職員のキャリアパスを整備し、これに沿った職員育成施策を確立・実施することを支援する。			
対象者	・新卒入職後3年以内の職員 ・他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員			
日程	令和7年6月25日(水)、26日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室	
開催日数	2日間×1回	受講者数	実人数	延べ人数
			47人	94人
	科目	時間	講師：職・氏名	
1日目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・フォロワーシップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・対人関係マナーとコミュニケーション	9:30～11:30 12:30～16:30	香川県社会福祉士会 三瀬 誠 香川県社会福祉士会 高木 千晶	
2日目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	9:30～11:30 12:30～17:00		
主な意見 ○ 新たな仲間(同グループ)の方と話し合ってわからないことを克服できた。 ○ 他の事業所、他の業種の方の意見や現場対応を伺え貴重な機会となった。 ○ 自分が進みたい道が決まった気がした。				

(2) キャリアパス対応生涯研修課程(中堅職員コース) 7

目的	初任者コースに同じ			
対象者	担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員(入職後、概ね3～5年の節目の職員)			
日程	令和7年8月22日(金)、23日(土)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室	
開催日数	2日間×1回	受講者数	実人数	延べ人数
			44人	87人
	科目	時間	講師：職・氏名	

1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・フォロワーシップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・能力開発と後輩職員の指導	9:30～ 11:40 12:40～ 17:00	社会福祉法人 かがわ総合リハビリテーション 事業団 地域生活支援部 部長 小島 正平
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	9:15～ 11:45 12:30～ 17:00	香川県子ども女性相談センター 所長 水永 淳
主な意見 ○ 中堅職員とは何かを知るとともにベテラン職員としてどうすればよいか考える機会となった。 ○ 中堅職員として目標が新たにみつかった。 ○ 自分の視野が広がり、様々な意見を学び、大変に勉強になった。			

(3) キャリアパス対応生涯研修課程 (チームリーダーコース) 8

目 的	初任者コースに同じ		
対象者	・近い将来、チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任、係長等に就いている職員		
日 程	令和7年8月29日(金)、30日(土)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室
開 催 日 数	2日間×1回	受講者数	実人数 56人 延べ人数 112人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名
1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと自己管理 【基軸科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成ほか 【重点科目の講義と演習】 ・OJTの効果的推進	9:30～ 12:00 13:00～ 17:00	社会福祉法人 さぬき 事務長 田中 元 社会福祉法人 永世会 愛生苑 施設長 山口 吉英
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプラン策定】	9:30～ 12:00 13:00～ 17:00	

主な意見 ○ スモールステップで前に進んでいきたいと思った。 ○ 現場でいかせるリーダーシップについて学べた。 ○ 自分のこと、チームのこと、これからのことを改めて考えるきっかけとなった。

(4) キャリアパス対応生涯研修課程 (管理職員コース) 9

目 的	初任者コースに同じ			
対象者	・近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業者管理者、部門管理者等に就いている職員			
日 程	令和7年9月18日(木)、 19日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室	
開 催 日 数	2日間×1回	受講者数	実人数	25人
			延べ 人数	50人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名	
1 日 目	【基軸科目の講義と演習】 ・キャリアデザインと環境整備 【基礎科目の講義と演習】 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成 【重点科目の講義と演習】 ・人材アセスメント	9:30～ 12:00 13:00～ 17:00	社会福祉法人 さぬき 事務長 田中 元	
2 日 目	【啓発科目の講義と演習】 ・能力開発、人材育成 ・業務改善 ・リスクマネジメント ・多職種連携、運営管理 【行動指針の策定】 【キャリアデザインとアクションプランの策定】	9:30～ 12:00 13:00～ 17:00	香川県社会福祉士会 高橋 順子	

主な意見 ○ ワークショップでの討論が有意義だった。 ○ 日頃かわりのない施設の方とも意見交換ができ、知識が広がった。 ○ 職種が違っても目指す方向は同じでこれからの経験にいかしていきたい。
--

2 介護保険関係研修

【職種・階層別研修】

(1) 介護支援専門員実務研修・更新研修・再研修(A・Bコース) 10 11 12

目 的	【実務研修】 介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関する必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で、医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図る。 【再研修】 介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が今後実務に就くために、介護支援専門員としての必要な知識及び技能の再修得を図る。
-----	---

	【更新研修】 介護支援専門員証の有効期限を更新する時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修の機会を確保し、介護支援専門員として、必要な知識及び技術の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図る。														
対象者	【実務研修】 令和7年度介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者														
	【再研修】 介護支援専門員証の有効期間が満了した者（研修受講中に有効期間が満了する者も含む）で、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者														
	【更新研修】 介護支援専門員証の有効期間が令和8年3月31日以前に満了する者で、有効期間満了後に実務に就く予定の者のうち、介護支援専門員証の交付を受けた後、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者及び介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している又は従事していた者で、特別な理由により専門研修課程を修了していない者														
日程	Aコース 12月19日(金)～3月17日(火) Bコース 12月20日(土)～3月21日(土)	研修方法	①eラーニング ②オンライン研修 ③集合研修												
開催日	10日間または7日間×2コース 実務は別途実習あり	受講者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実務</td> <td>98人</td> <td>実務 980人</td> </tr> <tr> <td>更新</td> <td>44人</td> <td>更新 308人</td> </tr> <tr> <td>再</td> <td>36人</td> <td>再 252人</td> </tr> </tbody> </table>		実人数	延べ人数	実務	98人	実務 980人	更新	44人	更新 308人	再	36人	再 252人
				実人数	延べ人数										
実務	98人	実務 980人													
更新	44人	更新 308人													
再	36人	再 252人													
科目	時間	講師													
講義	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	24時間視聴可能	eラーニング 視聴期間 令和7年12月12日 ～令和8年3月11日												
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理														
	地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源														
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義														
	高齢者に多い疾患等（糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等）の留意点の理解														
	ケアマネジメントに係る法令等の理解														
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント														
1日目	①自立支援のためのケアマネジメントの基本【講義・演習】	9:30～15:30	介護支援専門員研修指導者												
2日目	②相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の	9:30～12:30	介護支援専門員研修指導者												

目	基礎【講義・演習】		
	③介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）【講義・演習】	13:30～ 14:30	介護支援専門員研修指導者
	④利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意【講義・演習】	14:40～ 15:40	介護支援専門員研修指導者
3 日 目	⑤ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（1）—受付及び相談並びに契約—【講義・演習】	9:30～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（2）—アセスメント及びニーズの把握の方法—【講義・演習】		介護支援専門員研修指導者
4 日 目	⑦ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（3）—居宅サービス計画等の作成—【講義・演習】	9:30～ 14:30	介護支援専門員研修指導者
5 日 目	⑧ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（4）—サービス担当者会議の意義及び進め方—【講義・演習】	9:30～ 12:30	介護支援専門員研修指導者
	⑨ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術（5）—モニタリング及び評価—【講義・演習】	13:30～ 16:30	介護支援専門員研修指導者
	実習オリエンテーション	16:40～ 17:40	かがわ健康福祉機構 研修部
見 学 ・ 観 察 実 習	○見学・観察実習 受入事業所及び実習協力者の居宅等にて、ケアマネジメントの一連の流れを見学		実習終了後、提出された模擬ケアプラン及び実習日誌を介護支援専門員研修指導者が確認し、6日目（実習振り返り）で指導・助言を行う。
	○模擬ケアプラン作成実習 実習協力者への居宅訪問等でアセスメントを実施して模擬ケアプランを作成		
6 日 目	実習振り返り（実務）	9:30～ 12:30	介護支援専門員研修指導者
	⑩ケアマネジメントの展開（1）—生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント—【講義・演習】	13:30～ 15:30	介護支援専門員研修指導者
7 日 目	⑪ケアマネジメントの展開（2）—認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント—【講義・演習】	9:30～ 12:30	介護支援専門員研修指導者

	⑫ ケアマネジメントの展開 (3) ー大腿骨頸部骨折のある 方のケアマネジメントー【講 義・演習】	13:30～ 15:30	介護支援専門員研修指導者
8 日 目	⑬ ケアマネジメントの展開 (4) ー心疾患のある方のケア マネジメントー【講義・演 習】	9:30～ 11:30	介護支援専門員研修指導者
	⑭ ケアマネジメントの展開 (5) ー脳血管疾患のある方の ケアマネジメントトー【講 義・演習】	12:30～ 15:30	介護支援専門員研修指導者
9 日 目	⑮ ケアマネジメントの展開 (6) ー誤嚥性肺炎の予防のケ アマネジメントー【講義・演 習】	9:30～ 11:30	介護支援専門員研修指導者
	⑯ ケアマネジメントの展開 (7) ー看取りに関する事例ー 【講義・演習】	12:30～ 14:30	介護支援専門員研修指導者
	⑰ ケアマネジメントの展開 (8) ー地域共生社会の実現に 向け他法他制度の活用が必要 な事例のケアマネジメントー 【講義・演習】	14:40～ 16:40	介護支援専門員研修指導者
10 日 目	アセスメント及び居宅サー ビス計画等作成の総合演習【演 習】	9:00～ 13:00	介護支援専門員研修指導者
	研修全体を振り返っての意見 交換、講評及びネットワーク 作り	14:00～ 16:00	介護支援専門員研修指導者
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマネジメントの基本的な考え方や実践の流れを学ぶことができた。 ○ 分野で区切って研修してくれるのでわかりやすかった。 ○ オンラインのため、通うための時間が短縮できたことはありがたかった。 ○ 資料も見やすかった。演習のポイントを事前に説明してくれ、タイムスケジュールも尻量の中にあり、把握しやすかった。 ○ グループワークでいろいろな意見・考えに触れることで、新たな気づきや学びがあったことが一番の成果でだった。 ○ リモートでの研修だったが、他の方の意見が聞け、自分にはない視点もあり、参考になった。 			

(2) 要介護認定・課題分析(アセスメント)方式別研修 **13** **14**

目 的	介護支援専門員実務研修の実施にあたり、要介護認定及び課題分析(アセスメント)の各方式について、理解を深める。
対象者	介護支援専門員実務の受講者及び受講希望者

日 程	令和8年1月14日(水)	研修会場	社会福祉総合センター ①大会議室、②第1中会議室			
開 催 日 数	1日間×2コース	受講者数	人 実	84人	延べ 人数	84人
科 目		時 間	講 師			
要介護認定研修 ・要介護認定の仕組みと考え方 ・介護認定審査会の手順とポイント		10:00～ 11:30	香川県長寿社会対策課			
①居宅サービス計画ガイドライン方式 ・方式別課題分析の理解と演習		12:30～ 17:00	介護支援専門員研修指導者			
②三団体ケアプラン策定研究会方式 ・方式別課題分析の理解と演習		12:30～ 16:30	介護支援専門員研修指導者			
主な意見 ○ 講師の先生に丁寧に教えていただいた。 ○ ファシリテーターの先生方がとても親切でありがたかった。 ○ 記入作業は疲れたが実際にやってみないとわからないことばかりだったので、達成感があった。						

(3) 介護支援専門員 専門研修課程Ⅰ・更新研修Ⅰ **15** **16**

目 的	介護支援専門員として一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。					
対象者	【専門研修】 原則として、介護支援専門員として現在実務に従事しており、就業後6か月以上の者。 【更新研修】 実務経験者(※)で、介護支援専門員証の有効期間満了日が、令和8年10月末日以前の者。 ※ 実務経験者とは：現在所持している介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している又は従事していた経験を有する者。					
日 程	6月21日(土)、27日(金)、 7月4日(金)、11日(金)、 16日(土)【全5日間】	研修方法	①eラーニング ②オンライン研修			
開 催 日 数	5日間×1回	受講者数	実人数		延べ人数	
			専 門	45人	専 門	255人
			更 新	28人	更 新	140人
科 目		時 間	講 師			
講 義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	24時間 視聴 可能	eラーニング 視聴期間 6月9日～7月14日			
	生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践					
	ケアマネジメントの実践における倫理					
	対人個別援助技術及び地域援					

	助技術 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 下記、①～⑧の8領域の講義			
1 日 目	ケアマネジメント実践の振り返りと学習課題の設定	9:00～ 18:00	介護支援専門員研修指導者	
2 日 目	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント【演習】	9:30～ 12:30	介護支援専門員研修指導者	
	②認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント【演習】	13:30～ 15:30	介護支援専門員研修指導者	
3 日 目	ケアマネジメントの演習	③誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント【演習】	9:30～ 11:30	介護支援専門員研修指導者
		④看取り等における看護サービスの活用に関する事例【演習】	12:30～ 14:30	介護支援専門員研修指導者
		⑤家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント【演習】	14:45～ 16:45	介護支援専門員研修指導者
4 日 目	演習	⑥心疾患のある方のケアマネジメント【演習】	9:30～ 11:30	介護支援専門員研修指導者
		⑦脳血管疾患のある方のケアマネジメント【演習】	12:30～ 15:30	介護支援専門員研修指導者
5 日 目	研修全体を振り返っての意見交換、講評、ネットワーク作り	⑧大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント【演習】	9:30～ 11:30	介護支援専門員研修指導者
			12:30～ 14:30	介護支援専門員研修指導者
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 適切なケアマネジメント手法の冊子をももらったが、うまく活用できていなかった。今後、プラン作成の際には読み返すことで、自分に足りない視点がないか振り返りをしていきたいと思った。 ○ グループワークも多く、ほかの方の意見をたくさん聞いた。座学も良いが、こういった研修の方が緊張感もあり、良いと思った。 ○ アセスメント項目や専門職への聞き取りなど、今までの自分にはなかった視点を得られることができた。 ○ リモート研修は初めてであり、不安も大きかったが、オリエンテーション等で分かりやすく説明してくれた。 				

(4) 介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修Ⅱ (A・Bコース) 17 18

目的	介護支援専門員としての一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識及び技術を修得し、もって介護支援専門員としての資質の向上を図る。																												
対象者	<p>【専門研修】 原則として、介護支援専門員として現在実務に従事しており、就業後3年以上の方で、次の①②③のいずれかにあたる者。 ① かつて、専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰを修了し、更新研修で現在所持している介護支援専門員証を更新した者。 *再研修の修了をもって介護支援専門員証の更新をした場合、専門研修課程Ⅱを受講するためには再度専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰを修了する必要がある。 ② 専門研修課程Ⅱ又は更新研修Ⅱを修了し、現在所持している介護支援専門員証の有効期間を更新した者。 ③ 現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰを修了している者。</p> <p>【更新研修】 実務経験者(※)で、介護支援専門員証の有効期間満了日が1年以内に到来する方で、次の①②③のいずれかにあたる者。 ① かつて、専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰを修了し、更新研修で現在所持している介護支援専門員証を更新した者。 *再研修の修了をもって介護支援専門員証の更新をした場合、更新研修Ⅱを受講するためには再度専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰを修了する必要がある。 ② 専門研修課程Ⅱ又は更新研修Ⅱを修了し、現在所持している介護支援専門員証の有効期間を更新した者。 ③ 現在所持している介護支援専門員証の有効期間満了日前5年以内に、専門研修課程Ⅰ又は更新研修Ⅰを修了している者。 ※ 実務経験者とは：現在所持している介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している又は従事していた経験を有する者。</p>																												
日程	Aコース(5月開催) 5月24日(土)、28日(水)、 6月2日(月)、6日(金) Bコース(9月開催) 9月28日(日)、10月1日 (水)、8日(水)、10日(金)	研修方法	①eラーニング ②オンライン研修																										
開催数	4日間×2コース	受講者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">実人数</th> <th colspan="2">延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>A</td> <td>0人</td> <td rowspan="2">専門</td> <td>A</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>8人</td> <td>B</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">更新</td> <td>A</td> <td>140人</td> <td rowspan="2">更新</td> <td>A</td> <td>558人</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>130人</td> <td>B</td> <td>522人</td> </tr> </tbody> </table>			実人数		延べ人数		専門	A	0人	専門	A	0人	B	8人	B	32人	更新	A	140人	更新	A	558人	B	130人	B	522人
		実人数		延べ人数																									
専門	A	0人	専門	A	0人																								
	B	8人		B	32人																								
更新	A	140人	更新	A	558人																								
	B	130人		B	522人																								
科目		時間	講師																										
講	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	24時	eラーニング 視聴期間 Aコース(5月開催)																										

義	ケアマネジメントの実践における倫理	間 視 聴 可 能	5月13日～6月4日
	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解		Bコース（9月開催）
	下記①～⑧の8領域の【講義】		9月6日～10月9日
Aコース（5月開催） 4日間			
1 日 目	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント【演習】	13:10～ 14:10	介護支援専門員研修指導者
	②認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント【演習】	14:20～ 16:20	介護支援専門員研修指導者
2 日 目	③家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	④大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント【演習】	13:00～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
3 日 目	⑤心疾患のある方のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥脳血管疾患のある方のケアマネジメント【演習】	13:00～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
4 日 目	⑦誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	⑧看取り等における看護サービスの活用に関する事例【演習】	13:00～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
Bコース（9月開催） 4日間			
1 日 目	①生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント【演習】	13:10～ 14:10	介護支援専門員研修指導者
	②認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント【演習】	14:20～ 16:20	介護支援専門員研修指導者
2 日 目	③誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	④看取り等における看護サービスの活用に関する事例【演習】	13:00～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
3 日 目	⑤家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント【演習】	13:00～ 15:00	介護支援専門員研修指導者
4 日 目	⑦心疾患のある方のケアマネジメント【演習】	10:00～ 12:00	介護支援専門員研修指導者
	⑧脳血管疾患のある方のケアマネジメント【演習】	13:00～ 16:00	介護支援専門員研修指導者

<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設と居宅で視点が別であることを踏まえ、今後にかきたい。 ○ 実際の事例を通して学ぶことで具体的な対応策や考慮すべきポイントがより明確に理解できてよかった。実践に役立つ考え方が習得できた。 ○ 普段ケアマネ同士が話し合うことが少なく、こういった研修で他のケアマネと話す機会ができてよかった。 ○ オンラインのケアマネ研修は初めてだったが、事前に e ラーニングの講習を受け、理解を深めれてよかった。
--

(5) 主任介護支援専門員研修 **19**

目的	<p>介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図る。</p>
対象者	<p>介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する介護支援専門員であり、主任介護支援専門員としての役割を果たす者を養成する観点から、利用者の自立支援に資するケアマネジメントが実践できていると認められる者で、介護支援専門員専門研修課程Ⅰ及びⅡの受講修了者のうち、次の①、②、③、④のいずれかに該当する者。</p> <p>① 主任介護支援専門員に準ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者。「主任介護支援専門員に準ずる者」とは、ケアマネジメントリーダー養成研修（平成 15～18 年度）を修了した者を指します。</p> <p>② ケアマネジメントリーダー養成研修（平成 15～18 年度）を修了した者又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任※の介護支援専門員として従事した期間（令和 6 年 6 月末時点）が通算して 3 年（36 ヶ月）以上である者（居宅介護支援事業所における管理者との兼務期間は、従事した期間に算入できます）。</p> <p>③ 専任※の介護支援専門員として従事した期間（令和 7 年 6 月末時点）が通算して 5 年（60 ヶ月）以上である者。ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとします。なお、専任の介護支援専門員として従事した期間については、居宅介護支援のほか、地域包括支援センター、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護又は介護保険施設において介護支援専門員として従事した期間を含むものとします。</p> <p>④ 次の要件のいずれかに該当し、介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有するものとして、市町から推薦された者。</p> <p>ア 県、市町等が実施する介護支援専門員を対象とした研修において、講師・助言者等の実績がある者</p> <p>イ 市町が設置する介護保険関係の相談窓口で、介護支援専門員からの相談を受けた実績がある者</p> <p>ウ 市町が主催する事例検討会等において、ケアプラン指導等に携わった経験、実績がある者</p> <p>※専任とは…当該事業所における介護支援専門員としての勤務時間が、当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数（週 32 時間を基本とする。）に達しており、主たる業務が介護支援専門</p>

	員であること。				
日 程	10月18日(土)~12月3日(水)	研修方法	【1日目~2日目】オンライン研修		
		研修会場	【3日目~9日目】集合研修 社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 日 数	9日間×1回	受講者数	実人数	40人	延べ人数 358人
科 目		時 間	講 師		
講 義	①主任介護支援専門員の役割と視点	24時間視聴可能	eラーニング 視聴期間 10月2日~11月13日		
	②ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援				
	③終末期ケアを含めた生活の継続を支える基本的なケアマネジメント及び疾患別ケアマネジメントの理解				
	④人材育成及び業務管理				
	⑤運営管理におけるリスクマネジメント				
	下記⑥~⑧の講義				
1日目	⑥地域における生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実現	10:00~15:00	学識経験者		
2日目	⑦地域援助技術	10:00~15:00	学識経験者		
3~5日目	⑧対人援助者監督指導	11:00~16:00 または 9:00~16:00	学識経験者		
6~8日目	⑨ 個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開(1)	9:30~15:30 または 9:30~16:00	学識経験者		
9日目	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開(2)	9:00~16:00	学識経験者		
主な意見 ○ 専門職としての知識、すべての業務について再認識できた。また、それ以上に、「人としての感情」というポイントが深く学べた。 ○ 研修前は自分が主任介護支援専門員になる資格があるのか不安だったが参加して他のケアマネと共通する悩みなど相談することができてよかった。 ○ 主任介護支援専門員としての心構えや技術を学ぶことができ、今後の事業所での自分の役割を再確認できた。 ○ 集合研修は久しぶりだったが、顔を合わせて話ができる環境が大切だと思った。					

(6) 主任介護支援専門員更新研修 20

目 的	主任介護支援専門員に対して、主任介護支援専門員研修修了証明書の有効期限の更新時に併せて、研修の受講を課すことにより、継続的な資質向上を図るための定期的な研修受講の機会を確保し、主任介護支援専門員の役割を果たしていくために必要な能力の保持・向上を図る。									
対 象 者	<p>受講対象者は、次の研修を修了した者のうち、研修修了後から令和7年3月31日までに下記の受講要件を満たしている者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修 ・令和3年度主任介護支援専門員研修または主任介護支援専門員更新研修 <p>【受講要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護支援専門員に係る法定研修の企画、講師やファシリテーターの経験がある者 実務研修の見学・観察実習指導者（主任介護支援専門員）は、2年の実績があること 2 地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修等を年間4回以上受講した年が1年以上ある者 <ol style="list-style-type: none"> ①「年間」とは4月1日から翌年3月31日をまでを1年間と数えること（年度単位）。 ②前回の主任更新研修をみなし受講者として受講した者について、すでにカウントした法定外研修は カウントできない。 3 日本ケアマネジメント学会が開催する研究大会等において、演題発表等の経験がある者 4 日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャー 5 上記1～4以外で、主任介護支援専門員の業務に十分な知識と経験を有する者であり、都道府県が適当と認める者（下表） (以下の推薦基準のいずれかを満たし、市町または県の推薦が必要) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。</td> <td style="width: 70%;"> i) 研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。 ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。 iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。ただし、ケアプランを行っている部署で勤務する者を除く。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。</td> <td> i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。 </td> </tr> </table>						①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。	i) 研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。 ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。 iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。ただし、ケアプランを行っている部署で勤務する者を除く。	②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。	i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。
①市町が実施する介護支援専門員を対象とした研修会の講師等資質向上に関わっている者。	i) 研修の講師及びファシリテーター等の役割を務めている者。 ii) 市町で事例検討会等でのケアプランの指導をしている者。 iii) 市町が実施するケアプランチェックについて支援等している者（市町の依頼）。ただし、ケアプランを行っている部署で勤務する者を除く。									
②主任介護支援専門員としての活動を積極的にしていると認められる者。	i) 同行支援事業等で新任期の介護支援専門員に対するアドバイザーとして活動している者。 ii) 地域別主任介護支援専門員連絡勉強会等の主任介護支援専門員を対象とする研修会の企画運営を実施している者（参加のみは除く）。									
日 程	8月18日(月)、27日(水)、 9月5日(金)、12日(金)	研 修 方 法	①eラーニング ②オンライン研修							
開 催 日 数	4日間×1回	受 講 者 数	実人数	112人	延べ人数	448人				
科 目	時 間		講 師							
講 義	介護保険制度及び地域包括ケア	24時間視	eラーニング							

義	システムの動向	聴可能	視聴期間 7月30日～9月10日
	ケアマネジメントの実践における倫理		
	リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解		
	下記①～⑧の8領域の講義		
1日目	①【演習】生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	9:30～11:30	介護支援専門員研修指導者
	②【演習】認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント	12:30～16:30	介護支援専門員研修指導者
2日目	③【演習】心疾患のある方のケアマネジメント	9:00～13:00	介護支援専門員研修指導者
	④【演習】脳血管疾患のある方のケアマネジメント	14:00～18:00	介護支援専門員研修指導者
3日目	⑤【演習】家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	9:00～13:00	介護支援専門員研修指導者
	⑥【演習】大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	14:00～18:00	介護支援専門員研修指導者
4日目	⑦【演習】誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	9:00～13:00	介護支援専門員研修指導者
	⑧【演習】看取り等における看護サービスの活用に関する事例	14:00～17:00	介護支援専門員研修指導者
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師の先生の資料は見やすくわかりやすく、一方的な説明ではなくわかりやすかった。 ○ 4日間の研修が時間も長く不安もあったが、いざ始まると講師が時間の配分がわかりやすく伝えて課題に取り組みやすかった。 ○ eラーニングで疾患の理解が改めて学べて本当に良かった。 ○ 自分がこれまで行ってきたマネジメントは、根拠が不足していると感じた。これからのケアマネへの指導に関しては、アセスメントを適切なケアマネジメント手法を用いて課題の漏れをなくし、ケアマネジメントの作成・指導を行えるようにしたい。 			

【課題別研修】

(1) 訪問介護適正実施研修 21

目的	訪問介護事業所のサービス提供責任者等として、訪問介護員に必要な知識・技術の習得を図るとともに、その役割についての理解を深め、適正なサービス提供と業務遂行能力の一層の向上を図る。					
対象者	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等					
日程	令和7年7月3日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開催日数	1日間×1回	受講者数	実人数	50人	延べ人数	50人
科目	時間	講師：職・氏名				
【講義】 ・サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応 ・ACP 人生の最期まで自分らしく生きるためにやっておきたいこと	9:00～ 10:20	独立行政法人 国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 附属善通寺看護学校 非常勤講師 阿部 美知子				
〈テーマ〉 サービス提供責任者の専門性について考える 【講義】 ・サービス提供責任者の基本業務と役割について 【演習 グループワーク】 持ち寄った困難事例をもとにグループで話し合う ・自己覚知を通して対人援助技術を高める 【講義・個人ワーク】 サービス提供責任者としての専門性とは	10:30～ 12:00 13:00～ 16:00	株式会社 六花 代表取締役 大山 佳子				
主な意見 ○ サ責の仕事の手順が知れたのとグループワークでいろいろな方の意見を聞くことができ、すごく良かった。 ○ サービス提供責任者の大変さを感じた。 ○ 同じ職種の方と悩み等を話すうちに自分も楽になった。どこも同じなんだ、と思え、また頑張ろうと思った。						

(2) 施設介護支援専門員専門研修 22

目的	施設介護支援専門員におけるケアマネジメントの基礎的な知識を高めると共に高齢者の住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために必要な地域連携の充実を図ります。					
対象者	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方					
日程	令和7年10月17日(金)	会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開催日数	1日間×1回	受講者数	実人数	34人	延べ人数	34人

科 目	時 間	講 師：職・氏 名
高齢者介護施設のケアマネジメントと地域連携	9:30～ 12:00 13:00～ 16:00	社会福祉法人 さぬき 事務長 田中 元
主な意見 ○ 施設も地域の中のひとつだと認識できた。これまで何となく孤立感があったので、少しずつ自分の意識を変えていきたいと思う。 ○ 多職種との連携について、それぞれの施設がどう行っているのか自分の施設と何が違うのかなど話せる時間や気づきを与えてもらった。 ○ コロナ以降、地域との関係が今まで以上に絶たれ、地域資源も高齢化している。		

3 特別研修

【課題別研修】

(1) 対人援助技術専門研修 23

目 的	対人援助技術のスキルアップを図り、様々な課題やニーズをもつ来談者・利用者に対する応用力・実践力を高めるとともに、自己理解を深めることにより、相談面接や対人援助の業務に携わっている方の資質の向上と意欲の増進を図る。				
対象者	相談員、支援員、指導員、介護職、介護支援専門員、カウンセラー、ソーシャルワーカーその他の対人援助・相談援助業務の従事者及び関心のある方				
日 程	令和7年7月18日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	22人	延べ人数 22人
科 目	時 間	講 師：職・氏 名			
【講義・演習】 信頼関係を醸成する話の聴き方を学ぶ～「マインドフルネス」「安心な場づくり」の体験を通して～	9:30～ 12:00	四国学院大学 名誉教授 島影 俊英			
【講義・演習】 職場で簡単にできるストレスマネジメント ～1日5分のプチトレでストレスと上手につきあう～	13:00～ 16:00	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授 竹田 伸也			
主な意見 ○ 勤務年数が長くなるとどうしても当たり前の日常、当たり前の職員同士の意見・捉え方になってしまい、今回は良い刺激であり、初心に戻れた。 ○ 受け身ではなく、実際に体験する研修は非常に勉強になった。 ○ 島影先生の講義は、先生の体験された話でさらに聞いてみたくなった。竹田先生はやさしい声でとてもわかりやすかった。					

(2) リスクマネジメント研修 24

目 的	施設や職場におけるリスクマネジメントの実践について学び、トラブル発生時の対応や予防の能力を高め、安定した業務活動の継続を図る。
対象者	・施設、事業所において危機管理を担当する職員

	・受講希望者					
日 程	令和7年8月7日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	53人	延べ 人数	53人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
弁護士による法的リスク対策研修 ～判例が教えてくれる『最悪の事態』 回避の方策～		9:30～ 12:00	よつば法律事務所 弁護士 池内 優太			
リスクに強い組織を作るには？ ～リスク感性と心理的安全性を高める ～		13:00～ 16:00	石原せいご社会保険労務士事務所 代表 石原 誠吾			
主な意見						
○ 再度、事故のリスクを事業所内のヒヤリハット、危険箇所を出して事故をできる限り防止したい。						
○ 判例について多く知ることができたことと裁判側は何をもとに判決を下しているのか理解することができてよかった。						
○ 具体的な例をあげて話してくれたことでよかった。また、グループワークを通じ、いろいろな意見が聞けた。						

(3) レクリエーション・アクティビティ研修 25

目 的	健康運動実践の目的は、短期的には、総合的な体力・身体能力の向上であり、長期的には充実し自立した生活を送るために生活機能を維持することである。それに加えて、個人の健康の枠を越えて、グループ、地域、社会の健康を築くことも、目的のひとつである。介護現場で実践する健康運動の対象は、個人からグループへと広がる。 レクリエーション・アクティビティを単なる身体能力の向上の手段としてとらえるのではなく、「コミュニケーション」「仲間づくり」の側面も考察しながら、現場での活用方法を習得する。					
対象者	入所施設やデイサービスセンター等において、レクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員又は受講を希望する者					
日 程	令和7年5月16日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	40人	延べ 人数	40人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】	高齢者のからだどころ ～コミュニケーション手 段としてのレクリエーシ ョン～	10:00～ 12:00 13:00～ 16:00	四国学院大学 社会学部 教授 片山 昭彦			

【実技と解説】	①個別→二人→少人数→グループ→全体 ・じゃんけんを活用したレクリエーション・ボールを活用したレクリエーション ②座位→立位→移動→ゆっくり歩行→歩行→速歩 ・座位から立位へ筋力トレーニング要素の実施・立位から歩行へ身体活動量の確保		
主な意見 ○ レクリエーションの実技はとても楽しかった。 ○ 楽しかったです。このような研修ならば、また参加したい。 ○ 新聞紙でボールを作成した実技を行おうと思った。			

(4) 介護技術特別研修 26

目的	日々の介護を振り返り、エビデンスとエンパワメントに基づく介護を考えるとともに、今、最も新しく、専門性の高い技術を学ぶことにより、介護者としての資質の向上を図る。						
対象者	社会福祉施設等で直接介護にあたる職員又は受講希望者						
日程	令和7年7月31日(木)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室				
開催日数	1日間×1回	受講者数	<table border="1"> <tr> <td>実人数</td> <td>24人</td> <td>延べ人数</td> <td>24人</td> </tr> </table>	実人数	24人	延べ人数	24人
実人数	24人	延べ人数	24人				
科 目		時 間	講 師：職・氏 名				
利用者の権利擁護について ～その介護の方法は、利用者主体の介護になっていますか？～		9:30～ 12:00 13:00～ 15:30	日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 教授 社会福祉法人 睦月会 理事長 綿 祐二				
主な意見 ○ 職に就いて日が浅かったが、現場でのリアルな考えや状況を混ぜて話していただきてわかりやすく親しみを感じた。今後も綿先生の研修があれば受講してみたい。 ○ 権利擁護について普段自分が何気なく行っていることが虐待に繋がると気づけた。 ○ 新しいICTが早く取り入れられるようになれば良いと思った。							

(5) 認知症予防研修会 27

目的	近年、認知症は予防だけではなく、罹ったときに安心して地域で暮らせるために、「地域共生社会」モデルが重視されている。地域共生社会の実現には、福祉や介護の視点をはじめ、心理学や社会学など様々な知見が求められる。 そこで、この研修では認知症予防のための生活習慣について、これまでの研究からわかった危険因子をもとに、支援者として相手の生活習慣を無理なく変えるための方略について認知行動療法をベースに学びを深める。また、認知症高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう(地域包括ケアシステム)、医療機関、介護施設、地域包括支援センター、行政機関などが連携し、
----	---

	包括的な支援体制を構築することを学ぶ。				
対象者	認知症介護（予防）に従事する方、その他受講を希望する方				
日 程	令和7年11月7日（金）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	33人	延べ 人数
					33人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名		
	認知症になっても居心地よいコミュニティとは ～地域共生社会に求められる「人々の 連帯」を基礎づけるもの～	10:00～ 12:00	鳥取大学大学院 医学系研究科 教授 竹田 伸也		
	認知症ケアと地域共生社会	13:00～ 16:30	社会福祉法人 さぬき 事務長 田中 元		
	主な意見 ○ 竹田先生のとえがわかりやすく、とてもイメージがわきやすかった。 ○ 利用者の意欲を引き出すため、どういう声掛けをしたらよいか参考になった。 ○ 高齢化が進む時代にこのような研修会で学んだことを今後にいかにして行けると思った。				

（6）介護トピックセミナー 28

目 的	在宅や施設・事業所などの介護現場が抱える課題のうち、日常口腔ケアにおける介護職の役割及び感染対策について理解を深めるとともに、具体的な実践方法を学び、QOL（生活の質）の向上や尊厳の保持に係る専門性の一層の向上を図る。				
対象者	介護、看護等に従事する職員、又は関心のある方				
日 程	令和7年9月4日（木）	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室		
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	40人	延べ 人数
					40人
	科 目	時 間	講 師：職・氏 名		
	介護現場における口腔ケア実践 ～高齢者にとって大事なこと～	10:00～ 12:00	四国こどもとおとなの医療センター 歯科衛生士 土田 佳代		
	ノーリフティングの取組 ～ご利用者への介護サービスの質向上 と職員の労働安全に向けて～	13:00～ 15:30	一般社団法人 ナチュラルハートフル ケアネットワーク所属 理学療法士・介護福祉士 福島 寿道		
	主な意見 ○ ノーリフティングに関して、いろいろな用具を体験できて良かった。施設長に取り入れるよう相談したい。 ○ 様々な用具を使用して、体の負担を軽減することが、職員だけではなく利用者にとっても安全であることがわかった。 ○ 口腔ケアの正しい方法を学ぶことができてよかった。				

（7）子育て支援研修 29

目 的	子育てを支援・活性化していくため、地域における子育てに携わる方々の子育て支援に関する知識を深めるとともに、技術の習得を図る。				
対象者	保育所・こども園・地域子育て支援センターの職員、子育てボランティアと				

	して活動中の方、児童館職員、市町児童福祉担当職員等					
日 程	令和7年7月23日(水)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	17人	延べ 人数	17人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義】あらためて子育て支援を考える		10:00～ 12:00	元 高松短期大学 准教授 現 社会福祉法人カナン福祉センター 理事長 山 本 幾 代			
【講義・演習】 保育現場で活かせる美術工芸 ～和紙染めの基本と活用～ ①和紙染めの基本 ②和紙の切り紙を染める		13:00～ 16:00	香川短期大学子ども学科 第Ⅲ部 学科長 / 教授 辻 真樹			
主な意見 ○ 午前と午後で内容が違ったので、1日で多くのことが学べた。 ○ 午後の和紙染めの演習では、現場ですぐに使い、いろいろな遊びにいかしていけるのでとても良かった。 ○ 子育て支援センターで勤務しているため、支援の心構えや課題をわかりやすく教えてもらった。また、午後の美術工芸も楽しく、100均で手に入る材料のため、すぐに現場で使えると思った。						

(8) 接遇力研修 30

目 的	医療・福祉などの現場で働く方の組織人としての役割や接遇について学ぶとともに、メンタルケアについての知識を身につけ実践できるようにして、職務遂行のために必要な適応力やストレス対応力を養う。					
対象者	医療機関や福祉施設等で働く職員、その他受講を希望する方					
日 程	令和7年5月9日(金)	研修会場	社会福祉総合センター 大会議室			
開 催 日 数	1日間×1回	受講者数	実人数	27人	延べ 人数	27人
科 目		時 間	講 師：職・氏 名			
【講義・実技】 「VUCA(不確実)時代における接 遇力UP術」 ～メンタル・キャリア・マナーを統合 し、今の時代を生きよう～		9:30～ 12:00 13:00～ 16:00	人財育成のスペシャリスト 株式会社ミズ・オフィス 代表取締役 土居 珠見			
主な意見 ○ 接遇、特に傾聴が大切だとわかった。 ○ イライすることが多い中でなぜイライラしているのか振り返ることが、利用者にも良いと思った。 ○ 自分に余裕がないとき、利用者に対しての対応が悪かったのではないかと反省することが多々あった。						



お問い合わせは

(公財) かがわ健康福祉機構 研修部

〒760-0017 高松市番町一丁目 10 番 35 号

社会福祉総合センター 6 階

TEL 087 (835) 3807

FAX 087 (835) 4777

e-mail kensyu@kagawa-swc.or.jp

U R L <https://www.kagawa-swc.or.jp/home/home.htm>